

RV215W の VPN パススルー設定

目標

VPN パススルーはインターネット上の 2 つのセキュア ネットワークを接続する方法です。VPN パススルーはネットワークで有効になるとき VPN クライアントからパススルー インターネットへのへの始められる可能にし、VPN 接続が成功するようにします VPN トラフィックを。

VPN パススルーは一般的に ポイントツーポイント トンネリング プロトコル (PPTP) および IPSec パススルーの組み合わせです。VPN パススルーはネットワーク アドレス変換 (NAT) で必要なので最近使用されるすべてのルータ構成されている (複数のコンピュータが同じインターネット接続を共有するようにする NAT) です、および PPTP および IPSec は両方 NAT を使用しません。PPTP を許可するために、ルータの L2TP および IPSec VPN パススルーの概念を使用します。

注: ポートは VPN パススルーを有効にするためにそれ自動的にとはたきます開く必要がありません。VPN パススルーが設定することができる前に基本的な VPN のセットアップはホストおよびリモート側ですする必要があります。VPN を設定するために RV215W の技術情報基本的な VPN のセットアップを参照して下さい。

この技術情報は RV215W の VPN パススルーを設定する方法を説明します。

適当なデバイス

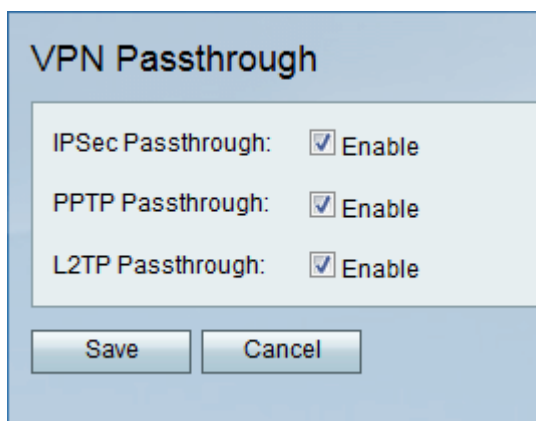
- RV215W

[Software Version]

- v1.1.0.5

VPN パススルー

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは > VPN パススルー 『VPN』 を選択し。VPN パススルー ページは開きます:



VPN Passthrough	
IPSec Passthrough:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
PPTP Passthrough:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
L2TP Passthrough:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable

Save Cancel

呼び出します。VPN パススルーを許可するために望ましいチェックボックスをチェックして下さい。利用可能な オプションは次のとおりです:

- IPSec パススルー— UDP パケットの IPsecパケットを結合する NAT-T を使用します NAT を使用する。
- PPTP パススルー— (NAT を使用しない) NAT を使用する拡張 な GRE と GRE 取り替えることによってルータで使用される。
- L2TP パススルー— UDP パケットの IPsecパケットを結合する NAT-T を使用します NAT を使用する。 Layer 2 Tunneling Protocol (L2TP) はレイヤ2 レベルのインターネットによってポイントツーポイント セッションを有効にするのに使用される方式です。

VPN パススルーのうちのどれかが無効になる必要がある場合ステップ 3. (オプションの) は適切なチェックボックスのチェックを外します。

ステップ 4. 『SAVE』 をクリックして下さい。